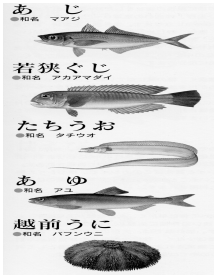
ＪＦ福井漁連

若越水産だより



発行日　令和６年８月３１日（土）　　第 ３６２ 号

発行･編集 福井県漁業協同組合連合会 910-0005 福井市大手２丁目 8-10 ☎ 0776(24)1203(代) FAX0776(27)5432

目　　次

◇ 水産業成長産業化沿岸創出事業（新リース事業）審査会開催される
◇ 「漁村女性はつらつライフ事業」視察研修実施される
◇ 会議・研修会等のご案内

回覧									

水産業成長産業化沿岸創出事業（新リース事業）審査会開催される

去る８月21日（水）、水産業成長産業化沿岸地域創出事業（新リース事業）審査会が、県水産会館で開催された。

今回の審査会では、敦賀市漁協所属の「弥五郎定置網」と越前町漁協所属の「小樟定置網組合」の２団体から申請が出され、資源管理の推進と収益性の向上に係る取組内容の妥当性・実現性と価格の妥当性についてのそれぞれ審議を行った。

「弥五郎定置網」からの漁網導入についての地域計画等説明後の質疑応答では、審査委員より「KPI資料の基準年の算出根拠」や「漁船も新たに購入するメリット」等について質問がなされた。これに対して漁協担当者と濱谷氏がそれぞれ説明し、議案は満場一致で承認された。

（新リース事業審査会の様子）

今後、「弥五郎定置網」と「小樟定置網組合」は、漁業所得向上と資源管理の推進を目指して、新しい定置網を年度内に導入し事業に取り組む。

「漁村女性はつらつライフ事業」視察研修実施される

漁村女性はつらつライフ事業の視察研修が、８月22日（木）、23日（金）に実施され、県女性連の女性部員（事務局含む）７名が参加し東京都を訪れた。

１日目の視察先　福井県のアンテナショップ「ふくい食の國291」は、2023年２月銀座１丁目にリニューアルオープンし、１階と地下１階の２フロアになっている。

（ふくい食の國291）

ゼネラルマネージャーの伊藤氏より販売商品について水産加工品を中心に説明を受け、その後意見交換を行った。

説明では、持ち帰りやすく割高でも食べきることができる商品に人気があり、店舗運営は売上げだけでなく首都圏の方に伝わっていない商品や魅力を伝えていくことが大事であると考えていると話された。

参加者は、新商品を探すルートや試食販売会の参加条件などについて質問し、関心の高さが伺えた。

２日目は、豊洲市場でマグロのせりを見学した。見学は５時45分から始まり、見学デッキにはせりの開始を合図する鐘が鳴り響く中、ガイドの方より築地から移転したメリットやせりの仕組み等について説明が行われ、参加者は熱心に聞き入っていた。

最後に東京ビッグサイトで開催されていた第26回ジャパンインターナショナルシーフードショーを訪れ、国内外の水産物や加工品、最新の水産技術を見学し研修を終了した。

（豊洲市場　水産卸売場）

会議・研修会等のご案内

△９月３日（火）魚さばき体験教室
＜場所：福井市越廼小学校＞
△　10日（火）小型船舶免許更新講習
＜場所：和田５区ふれあい会館、若狭高浜漁協＞
△　11日（水）県女性連役員会
女性部リーダー研修会
＜場所：県水産会館＞
△　25日（水）県漁青連役員会
＜場所：県漁連敦賀支所＞
△　28日（土）・29日（日）
ふくい食と農の博覧会
＜場所：ハピリン、県庁周辺＞
△　30日（月）
水産庁との漁協合併に関する勉強会
＜場所：県水産会館＞